

## 2019年度 活動報告

### はじめに

#### ■2019年度基本方針

- 1 活動への共感者を増やす。
- 2 認定NPO法人格取得をめざす。

今年度は活動への共感者を増やすために、地域のフリーマーケットへの参加、イオンの黄色いレシートキャンペーンでのアピール、他団体会議でのプレゼンテーションなどを行い、活動を広く知ってもらえるよう努めました。

リユース・リサイクル事業においては、10月から消費税率があがりましたが、特に大きな影響を受けずに年度末を迎えることが出来ました。

3月初旬から新型コロナウイルス感染が全国的に拡大し、感染防止対策としてショップ内でのマスクの着用、消毒液の使用、ペーパータオルへの切り替えなどを実践しました。感染の広がりが予測された3月4日から14日までは臨時休業とし、その後も刻々と変わる状況に随時検討し対応しました。

支援事業においては、継続支援5か所に加え、2か所の新規支援を実行することができました。世界的な気候変動の影響で、国内でも大型台風や長雨による大規模な被害が続き、台風15号及び19号の被災地への緊急支援を実施しました。

認定NPO法人格取得に向けての最初の段階として、12月24日に神奈川県指定NPO法人になりました。1月末には厚木市指定NPO法人申請書、及び認定NPO法人申請書も受理されました。

## 1) チャリティショップでのリユース・リサイクル推進事業

### (1) リデュース活動の推進

レジ袋の有料化が実現する時代の流れの中で、10月1日からWEショップ厚木店においてもレジ袋有料化を実施。引き続き啓発ポスターを掲示し買い物袋持参への協力を呼びかけた。

### (2) リユース活動の推進

\*チャリティショップ「WEショップ厚木」で、一般市民等から寄付された衣類や日用雑貨等を販売し、環境への負荷が少なくなるようリユースを進めた。

2019年度活動実績表 人数は延べ人数

寄付者数	3608件	内新規128件
顧客数	20780人	
売上高	18,224,964円	

・小型家具の寄付品が雑貨売上の数字を押し上げた。

\*着物のリユースを進める活動として10月から3月までの半年間月2回「着付け教室」を開催。参加費 1回500円を講師に支払う。

合計12回開催 延べ45人参加

### (3) リサイクル活動の推進

\*寄付された品物の中でリユースできなかった衣類等をリメイクボランティアチームの「おりひめ」や布ぞうり製作ボランティアに託し、リサイクルを進めた。

\*リユースできなかった衣類等を故繊維業者に託し、リサイクルを進めた。

搬出袋数 753袋

\*リユース出来なかった綿製品は、必要とされている高齢者福祉事業所等に45リトル袋110円で提供し、リサイクルを進めた。

提供した綿製品 31袋

### (4) 広報活動

上記の活動への共感者を広げるために、寄付品募集チラシやローカルニュース発行と配布、店内広報の充実、ソーシャルメディアの活用を進めた。

\*寄付品募集チラシ

- ・7月2019年度版寄付品募集チラシを10000枚作成し市内配布を実施。
- ・近隣のお店2店舗にチラシを置いてもらうよう協力を依頼。

\*ローカルニュースの発行

「WE21厚木ニュースNo.59」発行日2019年7月 500枚発行

「WE21 厚木ニュースNo.60」 発行日 2020 年 1 月 500 枚発行

\*ソーシャルメディアの活用

- ・フェイスブックにリアルタイムにショップ情報を載せるよう努めた。
- ・台風 15 号及び 19 号被災地への緊急支援実行や講座の開催、県指定 NPO 指定などの情報や定期ニュースの発行等、タイムリーにホームページに掲載した。

## 2) 国内外の寄付支援事業

### (1) 国内 NPO、NGO の海外プロジェクト支援の実施

総額： 2,823,725 円(店頭募金を含む)

支援国等	NPO、NGO 団体名	支援活動内容	支援金額
カンボジア	認定 NPO 法人 「幼い難民を考える会(CYR)」	「村の幼稚園」地域での継続支援	100 万円 ゆでたまご募金 7,036 円
	認定 NPO 法人 「シェア＝国際保健協力市民の会」	子どもの栄養改善 1000 日アプローチプロジェクト	50 万円
ネパール	NPO 法人ベルダレルネーヨ (ネパリ・バザーロ)	カンチャンジャンガ紅茶農園周辺の子どもたちへの高等教育支援	816,689 円
ミャンマー	公益社団法人「シャンティ国際ボランティア会」	ミャンマー難民キャンプの図書館事業	50 万円

\*その他現物寄付

- ・はがき 341 枚を「幼い難民を考える会(CYR)」へ寄付した。
- ・外国コインを「ユニセフ」に寄付した。

### (2) 国内 NPO、NGO の国内の寄付支援及び緊急支援

- \*秋に集中し大型台風による大きな被害が続いた。9 月の台風 15 号及び 10 月の台風 19 号の被災地へ緊急支援を行った。
- \*新規支援先として、在日外国人支援事業を新たに支援した。
- \*東日本大震災復興支援としては、継続支援に加えて福島 of 団体を新たに支援した

総額： 1,065,224 円(店頭募金を含む)

支援地域	NPO、NGO 団体名	支援活動内容	支援金額
東京都及び 関東近辺	認定NPO 法人「シェア＝ 国際保健協力市民の会」	在日外国人支援 通訳派遣と電話相談を通じ外国人の 医療アクセス改善プロジェクト	150,000 円
宮城県 気仙沼市	NPO 法人「生活支援プロジ ェクト K」	東日本大震災復興支援 気仙沼地域住民の生活支援(被災者 交流事業の継続、母親対象の子育て 支援事業、いのちの大切さを伝える 事業)	210,224 円+ (店頭募金含む)
福島県 郡山市	甲状腺ガン支援グルー プ・あじさいの会	東日本大震災復興支援 福島県内の小児甲状腺がん患者と家 族及び支援者へのサポート事業	500,000 円
千葉県鋸南町	鋸南町社会福祉協議会	台風 15 号被災地支援	100,000 円
福島県 いわき市	一般財団法人ふくしま百 年基金	台風 19 号被災地支援	105,000 円 (店頭募金含む)

\* 東日本大震災被災地の気仙沼の産品を取り扱い復興を支援した。

年間仕入れ金額 : 1,361,400 円

### 3) 国際理解を深めるための事業

#### (1) フェアトレードの推進

「もうひとつの海外支援」としてフェアトレード品の仕入れを行い生産者を支援した。

フェアトレード品 年間購入金額 380,999 円

フェアトレード品仕入先団体別購入金額 ( )内は取り扱い商品の生産国、主な品

ネパリ・バザール (ネパール紅茶、カレー、他)	第三世界ショップ (ブラジルの珈琲、インドネシアの塩、 チョコレート、他)	フレンズ オブ アシーラ(パレスチ ナのオリーブ石鹸)
126,833 円	248,666 円	5,500 円

・毎月フェアトレード品の共同購入をしてくれているヒューマンサポートネットワーク厚木の参加団体に、フェアトレード品の購入に関するアンケートの協力を依頼し、参考になる回答を得た。

#### (2) WE 講座の開催

支援先の国際協力NGOやNPO団体のメンバー及びフェアトレード団体による活動報告会を開催し、お互いの交流を深めた。

開催日	テーマ	講師等	場所・参加者
9/13	ミャンマー難民キャンプでの 図書館事業報告及び 絵本を贈る運動について	公益社団法人「シャンティ国際ボラ ンティア会」 広報担当 吉田圭助さん	アミューあつぎ 12名
3/3	ネパール高等教育奨学金 事業報告	ネパリ・バザーロ 代表 高橋百合香さん NPO 法人ベルダレルネーヨ事務局長 丑久保完二さん	アミューあつぎ 8名

### (3) 「貧困なくそうキャンペーン」の開催

10月には、国連が定める「貧困撲滅デー」に合わせ「貧困なくそうキャンペーン」を展開し、ホームページ、フェイスブック、店内掲示、チラシ配布により広く市民に参加を呼び掛けた。

- ・支援先の「シャンティ国際ボランティア会」によるミャンマー難民キャンプでの図書館事業を紹介するパネルを店内に展示。
- ・同団体から日本の絵本5冊を送ってもらい、ミャンマー語のシールを貼って訳す「絵本を届ける運動」を実施。(10/18 7人参加 10/21 6人参加)
- ・支援先の「若い難民を考える会」によるカンボジアの村の幼稚園事業の「ゆでたまご募金」を呼びかけ、募金7036円を団体に送金。

## 4) 組織運営

### (1) 運営委員会の開催

- \*月1回運営委員会を開催し、総会で決定された事業方針に基づき事業を推進した。
- \*認定NPO法人格取得にむけて活動を進めた。
  - ・基本方針に掲げた認定NPO法人格取得に向けて、最初の段階として12月24日付けで神奈川県指定NPO法人各を取得。
  - ・厚木市指定及び認定NPO法人の申請がそれぞれ1月末に受理され、次年度の取得に向けて活動を推進。

### (2) 会員

法人会員にはニュースの送付等を通じて情報を開示し、講座やイベントへの参加を呼び掛けた。

会員数            期首 86名            期末 84名

### (3) ボランティアミーティング及びスタッフミーティング

定期的に開催するボランティアミーティング及び毎月のスタッフミーティングを通じて情報を共有し、課題の整理、活動への提案につなげた。

スタッフミーティング : 12回開催

ボランティアミーティング : 偶数月に6回開催(12月の忘年会含む)

### (4) 地域とのつながり

\*市内の高齢者や子ども関連、漢方薬局、生協等非営利の15事業所がネットワークする「ヒューマンサポートネットワーク厚木(HSNと略)」と交流することでお互いの活動の情報交換をすすめ、WE21厚木の活動への関心を高めた。

- ・年間通じてフェアトレード品の共同購入にご協力いただいた。

購入実績 166,955円

※ご協力いただいた各事業所の皆さま

ケアセンターあさひ                  保育園ViVi                  おひさまっこ保育園  
学童保育なないろのたね          くれよん保育室          デイルームとんとん

- ・5/19 サービスハウスポポロ主催「ポポロまつり」に参加。
- ・5/22と6/26の2回、店頭において、生活クラブ生協厚木コモンズのキャラバン開催に協力。
- ・HSN運営会議及び総会に出席。
- ・7/12及び11/26 HSN主催の施設めぐり研修ツアー見学を受け入れ。

\*KTC おおぞら高等学院厚木キャンパスに協力し学生を受け入れた。

\*5/18と8/10の2回、森の里のNPO団体「ふらっとコアラ」主催のフリーマーケットに参加した。

\*7/7「厚木100人カイギ」に参加し、WE21ジャパン厚木の活動を紹介した。

\*毎月11日に開催されるイオン「黄色いレシートキャンペーン」に参加し、6月から2月まで毎月キャンペーンボックスを持って立ち合いをし、多くの人たちに活動を知ってもらいきっかけとなった。

### (5) WE21 ジャパン・グループとの連携

- ・5/18 WE21 ジャパン通常総会に出席。
- ・5/31 WE21 ジャパン理事長等と「活動推進費」についての話し合いを実施。
- ・7/2 9/4 10/24 12/17 1/22 2/20 グループ会議に出席。
- ・来年度の県央地域合同企画について、伊勢原、座間、綾瀬、相模原、大和、海老名、厚木の7地域代表者ミーティングで話し合いを実施。